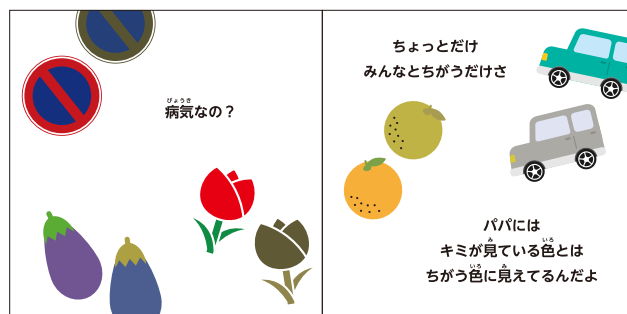
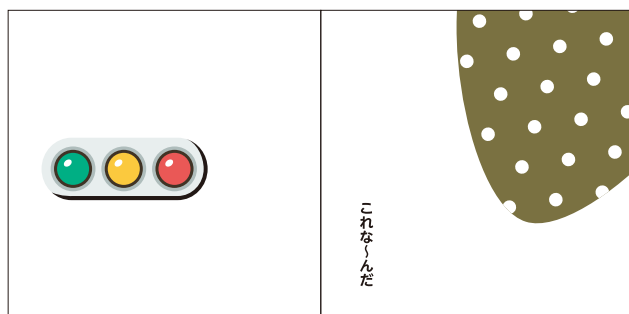
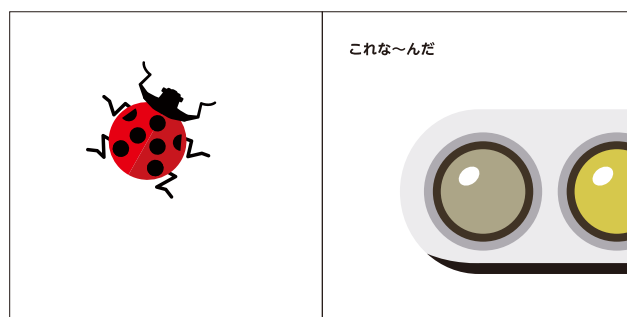
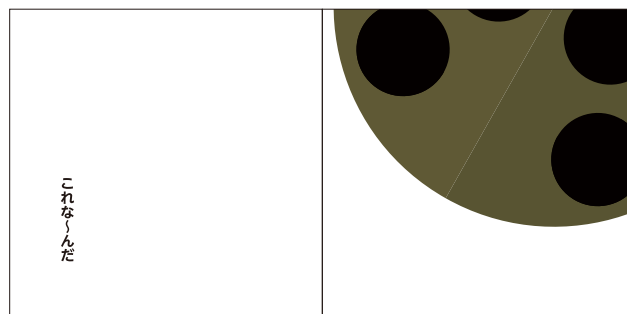




これな～んだ 色覚障がい者が見ている世界

橋本印刷株式会社
村上一（東京都）



工夫点

現状、「色覚障がい」について、「知らない」という人が大多数を占めていると思います。多くの人に認識してもらうためには…。

そのツールとして、「絵本」を選びました。

「絵本」は、親が読み聞かせをするので子供は自然と「色覚障がい」について身につく。勉強して身につけるのではなく「読み聞かせ」することで、日常として捉えることができるのではないかと考えます。

子供でも一目見てわかる虫や果物やマークなどのシンプルなイラストを採用し、漢字には全てふりがなをふり、書体は「UDフォント」を使用しています。

講評

視覚障がい者が見ている世界を子どもたちが直感的に理解できるようデザインされた素晴らしい作品です。複雑な描写を避け、必要最小限の情報に焦点を当てる「引き算の表現」によったシンプルで親しみやすい構成は、色弱者に関わらず多様な読者に寄り添ってまとめられています。絵本という形式を用いることで、小さな子どもでも楽しく読み進めることができ、視覚障がいというテーマを身近に感じられるようになっています。

視覚障がいへの理解を深める教育的ツールとしての可能性が高く、今後の普及とさらなる改良が期待されます。